

## 微分積分学 ② 期末試験問題

担当教員: 大場 清

2024 年 2 月 1 日 4 限 (15:20-16:50)

解答用紙: 1 冊 (A4 版両面 3 枚), 計算用紙: 1 枚

### 問題 1

$\mathbb{R}^2$  を定義域とした次の関数を考える.

$$f(x, y) = \frac{1}{4}x^4 + \frac{1}{3}y^2 + \frac{1}{2}x^2y^2 - 2x^2 + y^2$$

(1)

関数  $f(x, y)$  のすべての停留点を求め, そのそれぞれについて, 極大点であるか, 極小点であるか, 鞍点であるか, あるいはそのどれでもないかを判定せよ.

(2)

$D = \{(x, y) \in \mathbb{R}^2 \mid |x| \leq 3, |y| \leq 3\}$  とするとき, 制限関数  $f|_D : D \rightarrow \mathbb{R}$  の最大値, 最小値を求めよ.

### 問題 2

(1)

有界閉区間  $[0, 1]$  を定義域とする次の関数がリーマン積分可能かどうかを判定せよ.

$$f(x) = \begin{cases} 0 & \left(x = 1, \frac{1}{2}, \frac{1}{3}, \frac{1}{4}, \frac{1}{5}, \dots\right) \\ 1 & (\text{その他の } x) \end{cases}$$

(2)

$0 < s < 1, 0 < t < 1$  のとき, 次の広義積分  $B(s, t)$  が収束することを示せ.

$$B(s, t) = \int_0^1 x^{s-1}(1-x)^{t-1} dx$$

(3)

次の重積分の値を求めよ.

$$\int \int_D \frac{x}{(y+1)^2} dx dy \quad \text{ただし } D = \{(x, y) \in \mathbb{R}^2 \mid x \geq 0, x^4 \leq y \leq 1\}$$

### 問題 3

(1)

次の級数が絶対収束するか、条件収束するか、発散するかを判定せよ。

$$(a) \sum_{n=1}^{\infty} \frac{1+n}{1+n^2}$$

$$(b) \sum_{n=1}^{\infty} \frac{(-1)^n(2+n)}{1+n^2}$$

$$(c) \sum_{n=1}^{\infty} \frac{(-1)^{n-1}n}{2n-1}$$

$$(d) \sum_{n=1}^{\infty} \frac{(-2)^n}{1+3^n}$$

(2)

次のべき級数の収束半径を求めよ。

$$(a) \sum_{n=1}^{\infty} \left(1 - \frac{1}{n}\right)^{n^2} x^n$$

$$(b) \sum_{n=0}^{\infty} \frac{n!(2n)!}{(3n)!} x^{2n}$$

$$(c) \sum_{n=1}^{\infty} \left(1 + \frac{1}{2} + \frac{1}{3} + \cdots + \frac{1}{n}\right) x^n$$

$$(d) \sum_{n=0}^{\infty} \left(\sum_{k=0}^n a^k b^{n-k}\right) x^n \quad (\text{ただし, } a > 0, b > 0)$$